

サステナビリティの全体像

サステナビリティ重要課題の特定

特定したサステナビリティ重要課題

気候変動対応を最も重視

戦略経営計画「FUSION25」の策定に合わせてサステナビリティ重要課題を見直し、下図に示す七つを最も重要であると特定しました。とりわけ重点を置くのが気候変動対応です。

予測される新興国を中心とした冷房需要の急増は、空調を主力事業とする当社にとって大きな機会です。空調の普及は、気候変動への適応策の一つであり、コロナ禍で高まった空気浄化ニーズに応えることでもあります。一方のリスクが、空調使用に伴う電力消費や温室効果ガス排出です。現在、空調は全世界の電力消費量の1割程度を占めており、今後の需要の急増で、より影響が大きくなることが見込まれます。

これらのことから、空気に関する社会のニーズに応え、かつ社会の低炭素化にも貢献していくことが、当社の使命と考えています。温室効果ガス排出実質ゼロを環境ビジョン2050に掲げ、戦略経営計画「FUSION25」の重点テーマに組み入れて推進しています。

マテリアリティ分析



重要課題の特定プロセス

Step1 ステークホルダーの関心・影響を把握

- ダイキンが解決に貢献しうる社会課題
- 世界的枠組み 011

Step2 事業が社会に与える影響を評価

- ダイキンの事業特性 012

Step3 自社と社会の2軸でサステナビリティ重要課題を特定

戦略経営計画「FUSION25」策定に先立ち、サステナビリティ重要課題の見直しを行いました。

Step1～Step3を踏まえて、事業が社会に与える影響を評価して重要性の高い取り組みを絞り込んだうえで、投資家や有識者、社外取締役などから意見を聞き「ステークホルダーの関心・影響」を、従業員・経営層にヒアリングを行い「ダイキンにとっての重要性」を評価。自社と社会の2軸から最も重要な課題をCSR委員会で特定しました。

サステナビリティ重要課題

- | | | |
|------|-------------------|-----------------|
| 最も重要 | ■ 気候変動対応 | ■ 品質・顧客満足 |
| | ■ 安全・安心な空気環境の提供 | ■ 人材育成 |
| | ■ 空気の付加価値の向上 | ■ ダイバーシティマネジメント |
| | ■ 協創によるイノベーションの創出 | |

サステナビリティの全体像

環境ビジョン2050

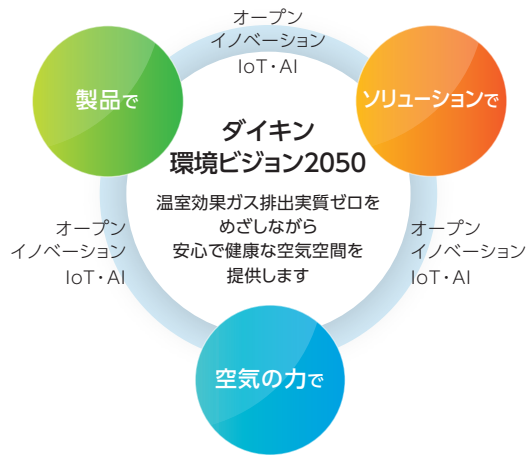
環境ビジョン2050

中長期の環境戦略

温室効果ガス排出実質ゼロへ

2050年に温室効果ガス排出実質ゼロをめざす環境ビジョン2050を2018年に策定しました。

環境ビジョン2050



当社製品から生じる温室効果ガス排出をライフサイクル全体を通じて削減します。さらに社会と顧客をつないだソリューションを創出し、ステークホルダーと連携して、温室効果ガス排出実質ゼロをめざします。IoT・AIやオープンイノベーションを活用し、グローバルな環境課題の解決に貢献しながら、世界の空気に関するニーズを満たし、安心して健康な空気空間を提供します。

環境ビジョン2050の実現に向けた目標を設定

空気のみならず付加価値を世界中に提供しながら温室効果ガス排出を実質ゼロにするため、事業の将来を分析したうえで排出削減の目標値を設定しています。

製品で

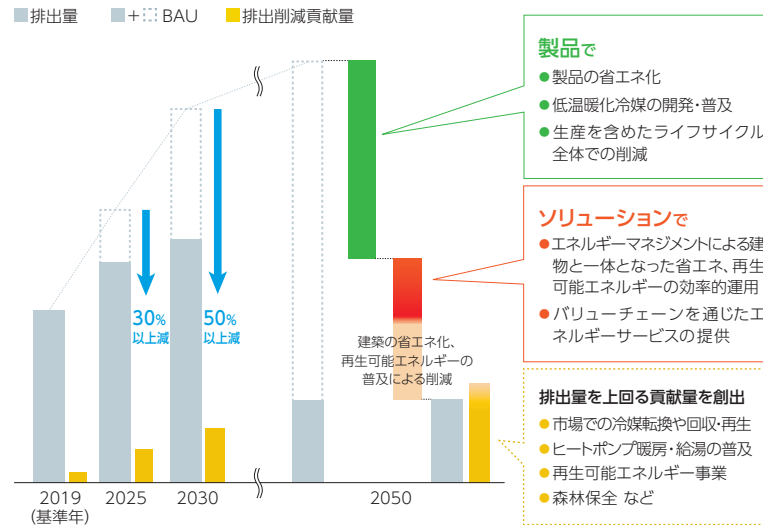
ソリューションで

空気のかで

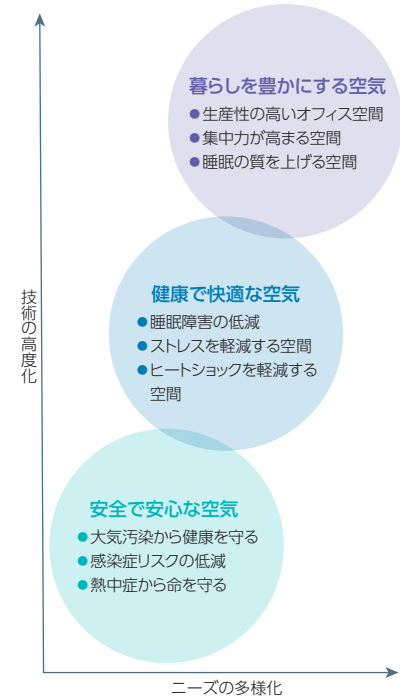
ライフサイクル全体での温室効果ガス実質排出量*の削減目標と実績

* 温室効果ガス排出量から排出削減貢献量を引いたものと定義。

2019年を基準年とし、未対策のまま事業成長した場合の排出量(BAU)と比べ
2025年に30%以上、2030年には50%以上削減
 2022年度実績：14%削減



「空気のか」のイメージ



サステナビリティの全体像

戦略経営計画「FUSION25」

戦略経営計画「FUSION25」

事業計画へ反映して諸施策を実行

環境ビジョン実現と関連付けた成長戦略3テーマを、戦略経営計画「FUSION25」の重点戦略テーマのなかに組み込みました。社会課題解決への貢献と事業成長の両立をめざして計画を遂行します。

FUSION25

環境と空気の新たな価値を提供し、
サステナブル社会への貢献とグループの成長を実現する

製品で

カーボンニュートラルへの挑戦

- 製品使用時における消費電力削減
- ヒートポンプ暖房・給湯の事業拡大
- 空調事業を支える冷媒に関する取り組み推進
- 化学プラントを除く全工場における、2030年に温室効果ガス排出実質ゼロ化への挑戦
- カーボンニュートラル社会を見据えた新事業への挑戦
- サーキュラー・エコノミーへの取り組み

ソリューションで

顧客とつながるソリューション事業の推進

- オーナーダイレクトの販売網構築、提案営業力の強化、用途市場別のメニューの拡充、事業推進機能の強化
- 省エネ性と快適性を両立するソリューションモデルの創出への挑戦
- 既存の事業拡大に加え、市場成長が見込まれるアジアでの事業展開の強化

空気ので

空気価値の創造

- 空気・換気の一大事業化
- 暮らしを豊かにする空気・空間の創造
- 新たな空気価値の探求

戦略経営計画「FUSION」

グループ経営理念および現状認識をもとに、5年間でめざしたいグループの発展の方向を定めた当社の戦略経営計画。現在は2025年を最終年度とした「FUSION25」が進行中。中間年度にあたる2023年、後半3ヵ年計画を策定。

📄 FUSION25

<https://www.daikin.co.jp/investor/management/strategy/fusion25>

「FUSION」の考え方

1. 経営を取り巻く外部環境および現状認識をもとに、5年間でめざしたいグループ発展の方向を決定
2. 重点戦略、3ヵ年の定量目標・実行計画を設定
3. 2年経過した段階で改めて最終年度の定量目標を設定（後半3ヵ年計画）

後半3ヵ年計画での主な強化取り組み

- モノづくり、オフィスなどでの温室効果ガス排出削減（2030年化学プラントを除く全工場温室効果ガス排出実質ゼロ化）
- 燃焼式主流地域でヒートポンプ暖房・給湯化推進
- 冷媒を回収・再生する「冷媒エコサイクル」の構築
- 顧客とつながるソリューション事業のさらなる推進など